

Yoshie Sakagami
Tamie Shiomi

全国で展開する “太陽光発電投資”を支える NOと言わない物流インフラ

太陽光発電投資で急成長する「エコスタイル」。太陽電池モジュールのリーディングカンパニーであるインリー・グリーンエナジーの物流インフラは、全国展開するエコスタイルの数多くの案件をスムーズにさばっている。その秘訣はどこにあるのか。両社の物流担当者に聞いた。

インリージャパン
関西支店
ビジネスオペレーション部
CS課
阪上 良枝



1 年のある朝、インリー

1・グリーンエナジージャパン（以下、インリー）関西支店のビジネスオペレーション部CS課の阪上良枝氏は、少し焦っていた。大型台風が中国地方を直撃、山口県の現



インリージャパンは決して“NO”とは言わないと、エコスタイルの塩見氏は阪上氏に絶大の信頼を寄せる

場で荷受けができなくなり、納品が急ぎょキャンセルになってしまったのだ。

だがすでにトラックは昨晩のうちに関西倉庫（大阪市）を出て現地に向かっている。今トラックを引き返させたら、余分な料金が発生してしまう。

「そこで急遽、納品現場に近い場所、山口・宇部近辺で仮置きのできる倉庫を探しました。取りあえずそこに保管し、荷受けが可能になった時点で再納品することを検討したのです。エコスタイルさんと連絡を取り合いながら、その手配を迅速に行い、事なきを得ました」

一方のエコスタイル管理本部

工程管理課の塩見民恵課長はこう回想する。

「こちらも荷受けする現場サイトの状況を刻々確認し、荷受けするまでの日程を急いで提出しました。保管してもらえ倉庫が見つかるかどうか不安でしたが、インリージャパンさんの物流担当者は決して“NO”とは言わない。このときも信頼していました」

一連の物流の業務は 日本法人がハンドリング

インリージャパンにとって、物流は重要な位置を占めている。もともと太陽電池モジュールの納品先は、市街地ではなく発電

に適した山間部などが多く、通常の物流では対応できない。地図にない場所などもあり、事前の下見や経路の情報収集が必須となる。

特にエコスタイルの場合、太陽光発電投資のターゲットとなる設備は50キロ未満で農地からの転用が多く、軽車両は通行できてもトラックが入りにくい経路も珍しくない。その場合、途中で2ト車で行き、軽トラックに積み替えながら現地にピストン輸送するなどの手配が必要となる。その際も、両社の間で綿密な打ち合わせが必要となる。「太陽電池モジュールの物流で一番大切になるのは、スケジュール通りに現地で荷降しすることです。納品の時間厳守は当たり前で、到着が遅れると施工がストップしてしまい、現場で作

業ができずに工期が伸びてしまうからなのです」と阪上氏は説明する。

インリージャパンでは、中国工場の出荷から日本国内の顧客の現場まで、一連の物流業務を全て日本法人でハンドリングしている。通関以降の現場までの物流は、日本通運と密接なパートナーシップを築き、顧客のオーダーに柔軟に対応できる体制を整えている。急な納期の日程変更やトラブルに対処できるのはそのためだ。

施工側が在庫を 抱えない物流システム

エコスタイルは1カ月に平均50案件、多いときで80案件もあり、数が多いため手配を漏らさずに網羅していくことが大変だという。案件ごとに納品場所や

必要な車両の種類、搬入の方法も違い、納品時間が細かく設定される現場もある。

エコスタイルの塩見課長は、「お客さまの都合での日程変更はよくあります。その場合は日程調整して、違う現場を先に施工したりするのですが、そんな納品先や分量の変更に対しても、インリージャパンさんは短納期できちんと対応してくれます」と評価する。

インリージャパンの物流の特長は、自社の倉庫から直接現場に納品するため、施工側が在庫を抱えなくてよい点にある。顧客からの発注を予測し、余裕を持って在庫をしているため、急な変更にも対応できる。

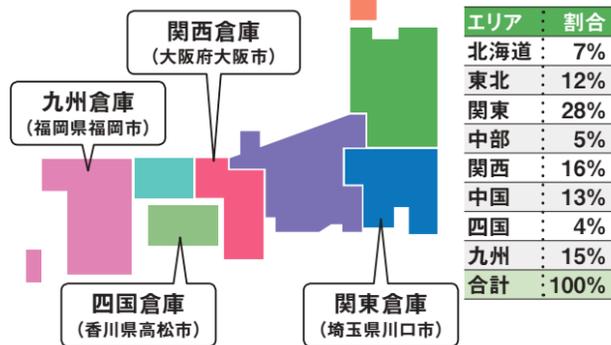
インリージャパン自身も、関連した製品をコンテナヤードに無料で置くことができる輸送業務の「フリータイム」を最大限に利用するなど、物流コストを削減しつつ出荷から納品までのリードタイムを短縮する努力を行っている。

予測すること 物流の最適化を図る

「物流で心掛けているのは、お客さまである取引先の担当者と密にコミュニケーションを取ることで、担当者の要望を事前に把

日本全国物流ネットワーク

2012年より4年間で
累計2GW以上の出荷・納品実績



「今後は、助けてください」というお声を頂く前に、トラブルを想定して対処できるような、安心していただける体制を整える。予測できることで物流の最適化を図れば、コスト面でもさらに貢献ができます」と阪上氏は言う。

エンドユーザーまで商品を確認し、実際に届けることを重視するインリージャパン。世界で実績がある太陽電池モジュールの品質のみならず、物流の品質も高く評価されている。

YINGLI SOLAR

問い合わせ先

インリー・グリーンエナジージャパン株式会社

〒108-0023
東京都港区芝浦3丁目2番16号
田町イーストビル7階

TEL: 03-6809-6596
www.yingli.com